公式記録

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

令和8年度兵庫県高等学校女子サッカー選手権大会　　決勝 【 7 】

主審署名	脇谷　咲花

日時	2026 年 11 月 14 日（土） 9 : 30 キックオフ	会場	ノエビアスタジアム神戸				
天候	晴れ	風	弱風	ピッチ	(天然芝)・人工芝・クレー	状態	良好	試合形式	70 分 ／ 延長 0 分 ／ PK戦 有
運営責任者	笠原　弘樹	会場主任	吉田　陽一	記録	杉山　公美 ／ 岡本　夕季	観衆	856 人
主審	脇谷　咲花	副審1	小西　悠子	副審2	石川　帆菜	第4の審判員	徳山　麻実子

チーム名				チーム名
神戸弘陵学園高校 (kick off)	1 前半 0	0		日ノ本学園高校
	1 後半 0			
	延前			
	延後			
	PK戦			

PK戦	選手番号	○× 先		PK戦	選手番号	先 ○×

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	延前	後半	前半	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート 前半	後半	延前	延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					清水　朱音 1年	1	GK	GK	12	河村　茅那 3年					分	
	分				1	藤井　希有 2年	6	DF	DF	3	坂東　麻耶 3年	1				分	
	分					早瀬　由萌 3年	7	DF	DF	(5)	白鞘　愛留 3年		1			分	
	分					岡田　紗香 3年	4	DF	DF	2	塩谷　花央 3年					分	
	分			1		平井　心 3年	(5)	MF	DF	4	下山　司 3年					分	
	49 分					安井　花心 2年	8	MF	MF	6	細田　若那 3年					分	
	69 分					安原　莉愛 2年	15	MF	MF	8	山口　真樹 3年					分	
	58 分					森下　怜奈 2年	19	MF	MF	9	古川　瑠華 3年		1			分	
	69 分			1		永井　陽莉 2年	9	FW	MF	10	色川　瑚夏 3年					51 分	
	分			1	1*	古田　紗菜 3年	10	FW	MF	14	原　琴美 2年					64 分	
	49 分			1*		西川　杏奈 1年	11	FW	FW	11	玉井　那奈 3年					分	
	分					新美　楓華 2年	12	GK	MF	7	川合　千暁 3年					分	
19	分					山下　莉央 2年	2	DF	MF	13	五味　由和 3年					分	10
	分					大塚　咲良 2年	3	DF	MF	15	椎葉　心華 2年					分	
15	分					小西　心 3年	17	MF	MF	16	山下　華乃 3年					分	
8	分					下田　希歩 2年	24	MF	MF	17	高岡　怜愛 2年					分	14
	分					小林　莉空 3年	26	MF	MF	18	山崎　来夏 1年					分	
	分					前　香子野 3年	13	FW			年					分	
11	分					八原　桃 1年	14	FW			年					分	
9	分					押川　智花 2年	25	FW			年					分	

時間	警・退	No.	氏名	事由
分				
分				
分				
分				
分				
分				

合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計
6			4	2	シュート	1	2			3
6			5	1	ＧＫ	1	5			6
2			1	1	ＣＫ	0	1			1
2			1	1	直接ＦＫ	2	2			4
2			2	0	間接ＦＫ	4	1			5
0			0	0	ＰＫ	0	0			0

時間	警・退	No.	氏名	事由
分				
分				
分				
分				
分				
分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過

［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS

時間	チーム	No.	得点者	スコア	
31 分	神戸弘陵	10	古田　紗菜	1 － 0	中央　10　～　S
39 分	神戸弘陵	11	西川　杏奈	2 － 0	左　11　～　S
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　　所属／名前　　【 北須磨／上松　敏治】　【 姫路女学院／井上　皓太 】

憧れの地、ノエビアスタジアム神戸にて決勝戦がキックオフされた。立ち上がりから神戸弘陵は前線へロングボールを多用し、相手ディフェンスラインの背後をシンプルに狙いながら日ノ本陣内に押し込む展開を作る。対する日ノ本もDF5白鞘を中心に最終ラインを統率し、前線の選手も素早く帰陣して固い守備網を構築。相手の攻撃を粘り強く跳ね返し、素早いカウンターから一瞬の隙を突いて得点を狙う緊張感のある攻防が続いた。試合が動いたのは31分。相手ディフェンスラインの背後へ絶妙に抜け出した神戸弘陵10古田がボールを受けると、巧みなドリブルでディフェンスを置き去りにし、落ち着いて華麗なループシュートを相手ゴールへ流し込んだ。リードを許した日ノ本も、前線が適切な距離感を保ちながら細かいパス回しで打開を図るものの決定機は作れず、1-0と神戸弘陵のリードで前半を折り返す。後半開始早々再び試合が動く。中盤で奪ったボールを左サイドで鋭く抜け出した神戸弘陵の11西川が、コントロールしたシュートをゴールへ流し込み、大きな追加点を挙げ2-0とリードを広げた。2点を追う日ノ本はMF6細田を攻守の起点としてゲームを組み立て、鋭いパス展開から神戸弘陵ゴールへ迫るが一点を奪えなかった。試合はそのままタイムアップ。ライバル同士のプライドが激しくぶつかり合う、決勝戦にふさわしい高度な技術と精神力が光る素晴らしい一戦であった。最後まで諦めず走り抜き、ボールを回しながら攻撃の姿勢を貫いた日ノ本。安定したゲーム運びと勝負強さで見事に頂点に立った神戸弘陵。両チームの健闘に心からの拍手を送りたい。なお、両校は兵庫県代表として全国大会への出場が決定している。

［備 考］